

河川の整備状況を国と県からお知らせします

人吉市の復興まちづくりの実現に向けて、国土交通省九州地方整備局と熊本県は、「緑の流域治水」を推進し、球磨川水系河川整備計画に基づく河川の整備を進めています。

九州地方整備局

【河道掘削】

国土交通省では、国が管理している区間で令和2年7月以降に約187万立方メートルの土砂を掘削しました（令和5年1月末時点）。現在は、中川原公園の地盤を約2メートル下げる掘削や、人吉城跡前の掘削などを実施しています。引き続き、河道掘削を実施し、流下能力の確保に取り組みます。

【遊水地】

対象地区で事業内容と現地調査の立ち入りの説明会を行い、順に測量や用地調査、用地協議を実施しています。引き続き、対象地区の住民の皆さんに丁寧に説明しながら、事業を進めていきます。



▲中川原公園の掘削状況



▲遊水地説明会

▲用地調査

問合せ 国土交通省九州地方整備局八代河川国道事務所
(☎0965-32-4135)

熊本県

【河道掘削】

県管理河川では、令和2年7月豪雨以降、合計約109万立方メートルの土砂を撤去しました。人吉市内では12河川で実施していて（令和5年1月末時点）、引き続き、流下能力の確保に取り組んでいます。

【山田川】

市の中心部を流れる山田川では、河道掘削や築堤などを行う予定です。併せて学識経験者や住民で構成される復興まちづくり推進協議会で取りまとめられる将来像に沿って、中心市街地のまちづくりと一体となった良好な河川空間の創出に取り組みます。

【御溝川】

市街地を浸水被害から守るため、放水路整備を進めています。一次放水路は平成3年に完成し、現在、二次放水路を整備中です。住民の皆さんのご協力のおかげで進捗率は63%（令和5年1月末時点）となっています。引き続き、令和5年度の完成に向けて工事を進めていきます。

【その他の河川】

出水川でも浸水被害の軽減を図る整備に向けて、地元説明会の開催準備を進めています。

問合せ 熊本県土木部河川課 (☎096-333-2507)



▲山田川の掘削状況



▲復興まちづくり推進協議会



▲御溝川二次放水路の整備状況

今後も、1日も早い復旧復興に取り組むと共に、球磨川流域の「命と環境の両立」の実現に向け、住民の皆さんと連携を図りながら河川整備に取り組んでいきます。

避難路整備説明会を開催しました

市では、被災した地域の地区別懇談会で出された住民の皆さんの意見を「復興まちづくり計画」として取りまとめ、復興まちづくりに取り組んでいます。同計画に基づいて進めている避難路整備の説明会を、1月28日から2月18日にかけて、復興まちづくり計画での対象町内（37町内）を対象に開催しました。

説明会では、地区ごとに設置している避難所・避難場所を示し、そこにたどり着くのに必要な主要避

難道路（特に人や車が集まる主要な道路）や幹線避難道路（主要避難道路に接続する道路）などの避難路を整備するため、住民からの要望や不通のリスクなどを踏まえて選定した重要路線について説明しました。

選定した重要路線は、測量設計業務を随時発注していて、令和5年9月をめどに整備計画を策定。避難するのに十分な幅員を広げるなど、整備を進めていきます。

重要路線の選定経緯

◆要整備避難路の抽出・優先度評価

令和3年度に行った地区別懇談会で要望のあった箇所などの整備候補路線について、復興事業導入可能性調査を行い、要整備避難路の抽出と優先度の評価を実施しました。

◆重要路線の選定

復興事業導入可能性調査を踏まえた上で、市復興建設部が現地確認を行い、早期に整備する重要路線を選びました。



▲避難路整備計画路線図（一部）

整備計画路線（重要路線）

主要避難道路（指定緊急避難場所などに向かうために、人や車両が集まる路線）

幹線避難道路（指定緊急避難場所などを結び、主要避難道路に接続する路線）

その他の避難道路（自宅、事業所からの最寄りの避難所へ接続する路線）

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 自主避難所



▲中原本小、カルチャーパレス、市役所の3会場で開催



▲避難路整備について地図を見せながら説明する市の担当者

当日の説明資料は、市役所1階ロビーと市復興支援課（市役所3階3-2番窓口）で配布しています。市ホームページからご覧いただけます。

市ホームページ▶



問合せ 説明会について 市復興支援課まちづくり推進係 (☎22-2111 内線3116)
避難路整備計画路線について 市道路河川課建設係 (☎22-2111 内線2241)